

<緊急連絡先>

- ◎警察:TEL 101
- ◎警察・消防・救急(EU諸国共通)
:TEL 112
- ◎休日開業医の紹介(ブリュッセル)
:TEL 02-201-2222
- ◎SOS医師派遣センター
:TEL 02-513-0202
- ◎在ベルギー日本国大使館
:TEL 02-513-2340
大使館領事部:TEL 02-500-0580

<当館案内地図>



- ・地下鉄: Maelbeek駅(1番線/5番線)
1番出口から徒歩7分
Schuman駅(1番線/5番線)から徒歩7分
- ・国鉄: Bruxelles-Schuman駅から徒歩3分
- ・バス: Parc Leopold (64番), (21番), (27番), (59番)
- ・大使館に来館者用駐車場はございませんのでご注意ください。

ようこそベルギーへ

～安全な旅を続けるために～



在ベルギー日本国大使館

住所: Rue Van Maerlant 1/ Van Maerlantstraat 1
1040 Bruxelles / Brussel
電話: +32-(0)2-513-2340
+32-(0)2-500-0580 (領事部直通)
窓口時間: 午前9時15分～12時
午後1時30分～4時
(月～金曜日、祝祭日を除く)
URL : <http://www.be.emb-japan.go.jp/japanese/index.html>
以下当館ホームページQRコード



<「帰国のための渡航書」申請必要書類>

- ・渡航書発給申請書(来館時に記入)
- ・写真2枚(カラー・白黒どちらでも可)
縦4.5cm×横3.5cm
6ヶ月以内に撮影
- ・警察発行の盗難・紛失届証明書
- ・本人の日本国籍が確認できる書類:
戸籍謄本(抄本)又は
本籍地の記載されている住民票
- ・帰りの航空券又は航空券予約証明書
(原則、本邦への直行便に限ります。)

<クレジットカード紛失連絡先>

VISA, 三井住友VISAカード, しんきんクレジットサービス, 三井住友トラストカード, 東京クレジットサービス(MUFG): 00-800-12121212
JCBカード: 0800-7-1073
三菱UFJニコス, NICOSカード: 00-800-99-860860
MasterCard: 0800-1-5096
JACCS: (0081)-46-215-2169※
ORICO (0081)-11-700-2952※
セゾンカード(クレディセゾン): 0800-1-6546
Life Card(ライフカード): (0081)-3-3431-1037
UCカード: 00-800-80058005
日本ダイナースクラブ(0081)-3-6852-0931※
エポスカード(Epos Card): (0081)-3-5340-3333※
楽天カード:(0081)-92-474-9256 ※
※コレクトコールで架電できます。
KDDI ジャパンダイレクト
コレクトコールアクセス番号
0800-1-0081



ベルギーで安全に過ごすために

ベルギーは、ヨーロッパ諸国の中でも必ずしも治安の良い国とは言えません。

駅・観光地・ホテルでは、スリや置き引き、また、詐欺などに遭う邦人が多く見受けられます。たとえば、2023年の統計では「スリやひったくり等」の犯罪が人口10万人に発生する割合は、日本の場合、400件程度ですが、ベルギーでは、1700件程度と、4倍以上の発生件数があります。

日本と同じ気持ちでいると、いろいろな犯罪に巻き込まれる可能性があります。

このリーフレットをお読みになって、ベルギーでの滞在が安全で楽しいものとなるよう参考として頂ければ幸いです。

犯罪発生場所

ブリュッセルにおいては、南駅(Gare de Bruxelles-Midi/Station Brussel-Zuid)、中央駅(Gare de Bruxelles-Central/Station Brussel-Centraal)、北駅(Gare de Bruxelles Nord/Station Brussels Noord)、グランプラス(Grand Place/Grote Markt)周辺、乗り物内、路上、ホテル、レストラン内が主な被害場所となっています。

また、アントワープ、ブリュージュ等の地方都市における被害事例もありますが、同じように、鉄道の駅や路上での被害が届けられています。



ホテルで

- ・朝食のビュッフェ会場で席を確保するためにテーブルの上や椅子の背もたれにバッグ等を置いておくことは絶対にやめて下さい。
- ・出発時にフロントが混雑しているため待つようなことがあっても、貴重品から絶対に目を離さないで下さい。

駅・乗り物内・路上で

貴重品を盗まれる多くの場合、犯人は複数であり、注意をそらす担当、物を盗る担当が分かれているようです。被害に遭う状況はたとえば以下のとおりです。

- ・服が汚れていると教えてくれる。
 - ・荷物を電車に乗せたり下ろしたりするのを手伝ってくれる。
 - ・日本語で話しかけてくる。
 - ・プラットホームから窓越しに何か話しかけられる。
 - ・電車内で小銭を散乱させる。
- 知らない人から急に話しかけられたりしても、貴重品から目を離さないで下さい。

犯人は、あなたの気をそらしている際に、貴重品を持ち去ろうとしています。

また、以下のことにも注意して下さい。

- ・網棚に貴重品を置かない。
- ・ひったくり防止のため、特に乗り物の出入口付近ではスマートフォンなどに使用は控える。
- ・貴重品は複数に分けて持ち、特にパスポートはセキュリティポーチ等に入れ肌身離さず持つ。
- ・華美な装飾品の着用や目立つ服装は避ける。
- ・ひったくりは、人通りの少ない道で発生することが多いので、できる限り人通りの多い道を歩くよう心がける。
- ・犯罪を避けるため、南駅(Gare de Bruxelles-Midi/Station Brussel-Zuid)などに到着する場合は、到着時刻にも気を配り、明るい時間帯を選ぶ。

詐欺に遭わないために

- ・私服警官を名乗る者から持ち物検査と称してクレジットカードの提示を求められたり、暗証番号を聞かれた場合、身分証明書の提示を求めらるか、その場で警察官を呼んで下さい。
- ・お金を落としたので貸してほしいとか、両替をしてほしい等理由をつけ、財布を出させようとしていたり、クレジットカードの暗証番号を聞こうとする人がいたら、拒絶し速やかに立ち去って下さい。

レストランで

- ・客引きが呼び込むようなレストランは避けたい方が賢明です。事前にレストランの評判を調べておくといいでしょう。それでも、当初言われていた金額以上の請求をされた場合、その場で警察官を呼んで仲裁を頼んで下さい。

- ・カバンを椅子の背もたれに引っかけたり、自分の背中と椅子の背もたれの間に入れておくと、置き引き被害に遭うことがあります。



犯罪被害に遭わないために

一旦犯罪被害に遭ってしまうと、予定の変更を余儀なくされたり、同行者や日本にいる家族にまで迷惑をかけることにもなりかねません。

一方、見知らぬ人から話しかけられても持ち物に気を配り、できるだけ速やかにその場を離れたり、高価な物を所持していることを周りに知られないようにしたり、また、電車での移動や街歩きも人通りの多い時間帯にしたりすることで、犯罪の被害から逃れられる可能性は大きいにあります。

快適で安全な旅を続けるためにも、一瞬の気の緩みが楽しい旅を台無しにすることがないように、どうか、気をつけてお過ごし下さい。

